

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名【新】インバウンド向け異分野連携体験コンテンツ造成事業費(R8)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 観光誘客推進課 誘客政策係 電話番号：058-272-1111(内3955)

E-mail：c11336@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	5,000	2,500	0	0	0	0	0	0	2,500
決定額	5,000	2,500	0	0	0	0	0	0	2,500

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県内を訪れる観光客、とりわけ外国人観光客のニーズは、有名な観光地を巡り、特産物を購入する従来型の観光から、自然の中でゆったりとした癒やしの時間を楽しみ、歴史文化を学び、その精神性に触れるといった体験型の観光へと大きく変化している。

他方、本県は、豊かな自然に加え、人々の暮らしに息づく伝統文化、受け継がれてきた匠の技、豊かな自然の下育まれてきた農村の営みなど、新たなニーズに応えられる魅力的な観光資源が豊富にある。

このため、これらの観光資源を歴史や文化のストーリーでつなぎ合わせることで、滞在型・体験型の観光資源として磨き上げるとともに、農業や林業など、これまで観光とは関係の薄いと思われてきた分野においても、観光資源としてスポットを当て、より付加価値の高い産業として発展させていくことが重要である。

そこで、本事業では、日本の原風景を味わえる「農村の暮らし体験」や、癒しを得られる「森林浴」等、異分野と連携し、外国人観光客の多様なニーズに対応できる新たな体験型コンテンツを造成・発信することで、さらなる観光消費額の拡大、観光関連産業の高付加価値化を図る。

(2) 事業内容

■異分野と連携した着地型体験コンテンツの造成【5,000千円】

県内の農業関連団体、林業関連団体等と連携し、外国人観光客の多様なニーズに対応できる新たな体験型コンテンツの造成を実施。

(3) 県負担・補助率の考え方

外国人観光客の誘致による観光産業の振興、県経済の活性化は県が率先して実施すべきものであり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	5,000	異分野と連携した着地型体験コンテンツの造成
合計	5,000	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
3 地域にあふれる魅力と活力づくり
(2) 次世代を見据えた産業の振興
④世界に選ばれる持続可能な観光地づくり

- ・岐阜県経済・雇用再生戦略
6 世界に選ばれる持続可能な観光地域プロジェクト
＜サステイナブル・ツーリズムの推進＞
(1) 地域資源の保全・活用による観光地域づくり

(2) 国・他県の状況

- ・国、他都道府県においても同様の事業を実施しており、国、県が事業予算を負担している。

(3) 後年度の財政負担

- ・造成した体験コンテンツが流通し、各事業者の収益となるには一定の期間を要することに加え、一部の事業者だけではなく産業全体の振興を図るうえでは、一過性の取組みではなく、一定期間、継続して行う必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・県内全域の観光産業振興や観光消費額の拡大等を目的とするものであり、県が主体となることは妥当である。

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

日本の原風景を味わえる「農村の暮らし体験」や、癒しを得られる「森林浴」等、異分野と連携し、外国人観光客の多様なニーズに対応できる新たな体験型コンテンツを造成・発信することで、さらなる観光消費額の拡大、観光関連産業の高付加価値化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年 実績	R6年 目標	R7年 目標	終期目標 (R9)	達成率
① 外国人延べ宿泊者数		109万人	120万人	170万人	200万人	54.5%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	
令和4年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 本県の認知度向上及び外国人観光客の増加を図るには、一過性ではなく、継続かつ地道な取り組みが必要である。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか インバウンド誘致については、県内宿泊施設をはじめ観光事業者からの要望も多く、県が誘客に積極的に取り組むことが重要であるので、県内事業者との連携・協力により、継続して事業を実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	・ GIFU-DO農泊推進事業費【農村振興課】 ・ 森の魅力創出支援事業費【森林活用推進課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	各課・協議会等が有する独自のネットワークや専門性を活用して掘り起こされた体験プログラムをベースとして、本事業によりインバウンド向けにブラッシュアップ・販売促進していくことで、両者の強みを活かしつつ効率的・効果的に双方の目標達成を図れる。